

急性期看護学実習

担 当：高齢者在宅長期ケア看護学教室

責任教員：教授 山本則子

実習施設：東京大学医学部附属病院

実習期間：2025 年 9 月 1 日（月）～9 月 12 日（金）毎週月～金曜日

実習時間：午前 8 時 ～ 午後 4 時

1. 目的

既習の知識、技術への理解を深め、急性期看護実践の基礎的能力を向上させる。

2. 目標

- 1) 急性期患者の看護過程（外科系）の実際を知る。
- 2) 外科的治療を受ける急性期患者 1 人を担当し、患者の疾患や治療、身体・心理社会的状態についてアセスメントを行い、看護計画を立案する。
- 3) 立案した看護計画のなかで実施可能なものを実施・評価する。
- 4) 多様な医療・看護環境と安全対策を知る。

3. 展開

1) 術前

- 受け持ち患者の全体像を把握するために情報を収集し、アセスメントを行い、手術前後（前、直後及び長期、継続的）に起こり得ることを予測する。
- 上記に基づき看護問題を明らかにし、看護計画を立案する。
- 立案した看護計画に基づいてケアを実施し、その効果を評価する。

2) 術中見学、術直後見学

3) 術後

- 患者の状態の変化をアセスメントし、必要時看護計画を修正し実施する。実施した結果を評価し、看護計画を再検討する。
- * 情報収集や看護過程の展開は、原則として 1 人の受け持ち患者を設定し、その患者を対象として行う。
- * 1 日の行動計画用紙に行動計画を記入し、毎日、実習開始時に教員、実習指導者の指導を受ける。
- * 行動計画用紙以外の記録物（関連図、看護計画等）は主として教員の指導を受ける。
- * 患者に看護行為を実施する場合には必ず、教員、実習指導者あるいは担当看護師の監督の下に行う。
- * 実習最終日の午後に、全体発表会を行う。

4. 見学実習

【手術部看護実習】

1) 目的

手術部における看護の概要、清潔区域と動線、および麻酔の概要を理解する。

2) 目標

- 手術部における急性期看護の概要を知る。
- 受け持ち患者の手術の見学に先立ち手術部の設備、構造、医療機器、無菌管理などの特徴について事前に学習し、より深く手術部看護を理解する。

3) 日程、集合時間、集合場所等

急性期看護学実習オリエンテーション時に連絡する。

【救急・集中治療科看護実習】

1) 目的

救急・集中治療科における急性期看護の実際を理解する。

2) 目標

- 救急・集中治療科における急性期看護の実際を知る。
- 各種モニター等、医療機械の働きの概要を知る。
- 救急・集中治療科の設備・構造・清潔管理などの特徴を理解する。
- 東大病院救急・集中治療科の活動について知る。

3) 日程、集合時間、集合場所等

急性期看護学実習オリエンテーション時に連絡する。

5. 提出物

1) レポートおよび実習全記録

- (1) レポート課題 ① 手術部・手術見学実習で学んだこと A4 版 1 枚
 ② 救急・集中治療科見学で学んだこと A4 版 1 枚
 ③ 急性期看護学実習について（課題は実習中に指定する） A4 版 1 枚

(2) 実習全記録（作成したものはすべて提出、清書はしない）

2) 期限 2025 年 9 月 16 日（火）（時刻は別途指定する）

3) 提出先 医学部 5 号館 206 号室

6. 単位認定

1) 出席（全出席を原則とする）

2) 実習内容

3) 提出物

7. 注意

- 1) 補講は行わない。
- 2) 病気その他、やむを得ない事情で欠席または遅刻をする場合には、指導教員にできるだけ速やかに連絡をする。